暗号化機能搭載 USB 接続ハードディスク

HD-PXTU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで当社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

■ BUFFALO™ は、株式会社メルコホールディングスの商標です。また、本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは記載していません。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、当社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品（付属品等を含む）を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 使用上の注意

本製品の使用上の注意を説明します。

使用上の注意

⚠注意 **以下のことは絶対に行わないでください。行った場合、データが破損する恐れがあります。**

●仮想メモリーの保存先に本製品を設定すること

●本製品にアクセスしているときに以下のことを行うこと

- **USB ケーブルや電源ケーブルを抜くこと**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にすること**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）に移行すること**
- **ログオフ、ログオン、ユーザー切り替えをすること**

● お使いのパソコンによっては、パソコンの省電力モードから復帰した場合に遅延書き込みエラーが表示されることがあります。その場合は、パソコンを省電力モードにする前に、本製品を取り外してください。

● パソコンの電源を OFF にしても、本製品のパワー・アクセスランプが消灯しない場合は、本製品の USB ケーブルを取り外してください。パワー・アクセスランプが消灯しないと、本製品のロックがかかりません。

● 出荷時は、暗号化機能（暗号化モード）が無効です。暗号化モードに変更した場合、パスワードを入力して認証に成功すると、本製品が利用できるようになります。

● 暗号化モードに変更した場合、パスワードを忘れてしまうと本製品に記録されたデータを取り出せなくなりますので、決して忘れないようにしてください。

● 暗号化モードに変更した状態で、Mac では本製品を使用できません。Mac でお使いになる場合は、暗号化モードを解除してください。

● パスワードは厳重に管理し、他人に知られないようにしてください。

● 本製品を初めて接続した場合、本製品のパワー・アクセスランプが点灯するまでに 20 秒程度かかることがあります。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため､1 ファイルの最大容量が 4GB となります。NTFS 形式や Mac OS 拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

次のページへ続く

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

● 本製品を接続した状態で Mac OS を起動すると、認識しない場合があります。その場合は、USB ケーブルを一度取り外し、数秒待ってから再接続してください。

● お使いのパソコンによっては、本製品を接続したままパソコンを起動すると、Windows が起動しないことがあります。この場合は、Windows の起動後に本製品を接続してください。また、本製品を接続したままパソコンの電源を ON/OFF する場合は、パソコンのマニュアルを参照して、BIOS のブート設定を内蔵ハードディスクから起動する順序に変更してください。

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【マニュアル「 はじめにお読みください 」】

⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（パワー・アクセスランプが点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**

● 複数の USB 機器と併用したいときは、当社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品から OS を起動することはできません。

● 本製品に物を立てかけないでください。
故障の原因となる恐れがあります。

● Windows パソコンで使用する場合、本製品を USB1.1 準拠の USB 端子に接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● 本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。

次のページへ続く

● 本製品のドライバーがインストールされると、［デバイス マネージャー（デバイス マネージャ）］（※）に次のデバイスが追加されます。

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows 7	ユニバーサル シリアル バス コントローラー	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	BUFFALO HD-PXTU2 USB Device
	DVD/CD-ROM ドライブ	BUFFALO Virtual Cdrom USB Device
Windows Vista	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	BUFFALO HD-PXTU2 USB Device
	DVD/CD-ROM ドライブ	BUFFALO Virtual Cdrom USB Device
Windows XP	USB コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	BUFFALO HD-PXTU2 USB Device
	DVD/CD-ROM ドライブ	BUFFALO Virtual Cdrom USB Device

※［デバイス マネージャー（デバイス マネージャ）］は次の方法で表示できます。

Windows 7 ....［スタート］をクリック→［コンピューター］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイスマネージャー］をクリック

Windows Vista ....［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリック→［デバイスマネージャ］をクリック

Windows XP...................................［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

認証後にドライブをロックするには

暗号化モードでお使いの場合、Windows で以下のことを行うと本製品がロックされます。

- **SecureLock Manager Easy**
  （付属ソフトウェア「SecureLock Manager Easy」を使ってロックすることができます。）
- シャットダウン
- 再起動
- 本製品の取り外し
- スタンバイ
- 休止

●ログオフやユーザー切替では、ロックされません。
一度、本製品をパソコンから取り外してください。

● Mac OS は、暗号化モードに対応していません。

2 パスワードを忘れたときは（Windows のみ）

本製品のパスワードを忘れてしまった場合に、本製品を出荷時の状態に戻して再度ご使用いただけるようにする手順を説明します。

メモ Mac では本製品を出荷時の状態に戻せません。

パスワードを忘れたときは（出荷時に戻す）

パスワードを忘れてしまって、どうしても思い出せない場合は、本製品を出荷時に戻してください。出荷時に戻すと、本製品に保存されているデータとパスワードをすべて削除します。本製品に保存されている Mozilla Firefox と Mozilla Thunderbird の設定データ、保存データも出荷時状態に戻ります。

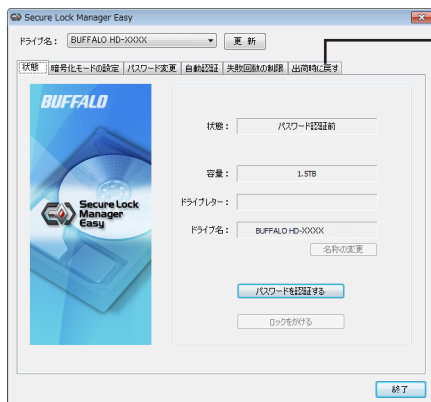
注意 出荷時に戻すと、本製品はFAT32形式でフォーマットされ、本製品に保存されたデータが全て削除されます。出荷時に戻すとデータを取り出せませんので、ご注意ください。また、4GB 以上のファイルを本製品に保存する場合は、出荷時に戻した後に本製品を NTFS 形式や Mac OS 拡張形式でフォーマットしてください。

1 本製品をパソコンに接続します。

パスワード認証の画面が表示された場合は、画面を閉じてください。
Windows 7/Vista の場合、自動再生の画面が表示されることがあります。その場合も、画面を閉じてください。

2 [スタート] ー [（すべての） プログラム] ー [BUFFALO] ー [SecureLock Manager Easy] ー [SecureLock Manager Easy] をクリックします。

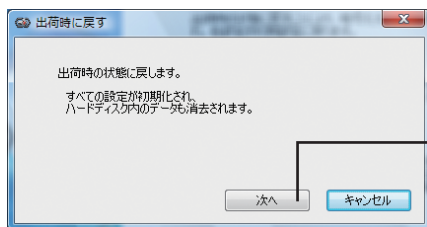
SecureLock Manager Easy が起動します。

3

［出荷時に戻す］ をクリックします。

次のページへ続く

4

[出荷時の状態に戻す] をクリックします。

5

以降は、画面の指示に従ってください。

上記の操作を行うと、本製品に保存されていたデータは全て消去されます。保存されていたデータは取り出しできなくなりますので、ご注意ください。

6 **「ハードディスクを出荷時の状態に戻しました」と表示されたら、[OK] をクリックしてください。**

以上で完了です。しばらくすると、本製品が認識されます。認識されないときは、本製品を一旦取り外し、再度接続してください。

3 付属ソフトウェアについて（Windows のみ）

付属のソフトウェアの概要とお問合せ先をご案内します。

Windows 用のソフトウェアについての説明を記載しています。Mac ではお使いになれませんのでご注意ください。

付属ソフトウェアの概要

Buffalo Tools

● **使いかた**
それぞれのソフトウェアのマニュアルを参照してください。マニュアルは、DriveNavigator から表示できます（P11 参照）。

● **お問合せ先**
株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問合せください。

TurboPC

TurboPC は、書き込みキャッシュを使用し、転送速度を高速化します。

TurboCopy

TurboCopy は、コピー / 移動するファイルをひとまとめに転送して効率化します。

Backup Utility

Backup Utility は、バックアップソフトウェアです。バックアップするドライブを指定しておくことで、一定間隔または指定時刻に自動でバックアップを行えます。

RAMDISK Utility

パソコンに搭載されているメモリーの領域を仮想ハードディスク「RAMDISK」として使用するソフトウェアです。RAMDISK は、コンピュータ（マイコンピュータ）にハードディスクとして認識され、データの読み書きを行うことができます。
ハードディスクよりも高速なメモリーの特性を活かし、データの読み書きが快適に行えます。

Buffalo Tools Launcher

Buffalo Tools Launcher は、簡単にソフトウェアを起動させるためのランチャーです。Buffalo Tools Launcher にあるアイコンをクリックするだけでソフトウェアやファイルを起動することができます。

Eject Utility

Eject Utility は、USB 接続機器（USB メモリー、USB ハードディスクなど）をパソコンから安全に取り外すためのユーティリティーです。機器（ドライブ）ごとにアイコンを変更できますので、取り外す機器が分かりやすく、簡単に取り外しができるようになります。

eco マネージャー

本製品を休止状態（※）にして消費電力を抑えることができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すれば、アクセスしないハードディスクの消費電力を抑えることができます。

※ eco マネージャーでの「休止状態」とは、このソフトウェアを使用してハードディスクの電源を OFF、またはハードディスクの回転を停止にした状態を指します。パソコン（Windows）の休止状態や、スタンバイ・ハイバネーション等の省電力状態とは異なります。休止状態では、パワー・アクセスランプは消灯しますが、コンピュータ (マイコンピュータ) にある本製品のアイコンは表示されたままです。

● 使いかた

ソフトウェアのマニュアルを参照してください。マニュアルは、DriveNavigator から表示できます（P11 参照）。

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問合せください。

モバイルランチャー

Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird を、本製品から起動するためのソフトウェアです。

● 使いかた

ソフトウェアのマニュアルを参照してください。マニュアルは、DriveNavigator から表示できます（P11 参照）。

● 制限事項

モバイルランチャーのメニューから [設定を変更する] を選択した場合、「製品を接続した時に、ハードディスクの自動再生ウィンドウをキャンセルする。」機能は、本製品では使用できません。

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問合せください。

SecureLock Manager Easy

本製品の暗号化機能を有効にし、パスワードを設定したり、自動認証を追加したりすることができます。出荷時は暗号化モードに設定されていないため、このソフトウェアを使って暗号化モードに変更することをお勧めします。

● 使いかた

ソフトウェアのマニュアルを参照してください。マニュアルは、DriveNavigator から表示できます（P11 参照）。

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問合せください。

Mozilla Firefox

インターネットのホームページを見るための Web ブラウザーです。ソフトウェアは、本製品に保存されているため、パソコンにインストールすることなく起動できます。

※ P12 の「Mozilla Firefox、Mozilla Thunderbird の注意」もご覧ください。

● **使いかた**

以下のホームページをご覧ください。
http://mozilla.jp/

「Mozilla Firefox」に関するお問い合わせ先は、以下のホームページをご覧ください。
※ 株式会社バッファローでは、「Mozilla Firefox」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

http://mozilla .jp/support/firefox

Mozilla Thunderbird

メールソフトウェアです。ソフトウェアは、本製品にインストールされているため、パソコンにインストールする必要がありません。また、受信したメールなども本製品に保存しますので、本製品ともにメールの設定や受信データなども持ち運べます。

※ P12 の「Mozilla Firefox、Mozilla Thunderbird の注意」もご覧ください。

● **使いかた**

以下のホームページをご覧ください。
http://mozilla.jp/

「Mozilla Thunderbird」に関するお問い合わせ先は、以下のホームページをご覧ください。
※ 株式会社バッファローでは、「Mozilla Thunderbird」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

http://mozilla. jp/support/thunderbird

付属ソフトウェアのインストール

付属ソフトウェアは、DriveNavigator（本製品に収録されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックしたときに表示されるメニュー）からインストールできます。以下の手順でインストールしてください。

※ Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird、モバイルランチャーは、すでに本製品にインストールされています（DriveNavigator に表示されません）。使いかたなどは、「付属ソフトウェアの概要」ページに記載のホームページやヘルプをご覧ください。

1 本製品をパソコンに接続します。

2 コンピュータ（マイコンピュータ）にある「Utility_HD-PXTU2」（ ）をダブルクリックします。

3 「DriveNavi.exe」（ ）をダブルクリックします。

DriveNavigator が起動します。

- Windows 7 の場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- Windows Vista の場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

4 [かんたんスタート] をクリックします。

5 使用許諾契約の画面が表示されたら、[同意する] をクリックします。

6 [ソフトウェアの個別インストール] をクリックします。

7 インストールするソフトウェアを選択し、[インストールする] をクリックします。

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

4 Mozilla Firefox、Mozilla Thunderbird の注意

Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird を使用する際は、以下のことにご注意ください。

Mozilla Firefox、Mozilla Thunderbird の注意

● 本製品のハードディスク内にある「DATA」フォルダー、「APP」フォルダー、「MobileLaunch.exe」、「MobileLaunch.ini」を削除・変更しないでください。

このフォルダーには、Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird のデータやソフトウェアのインストールファイルが保存されています。削除・変更した場合、データを読み出せなくなることがありますのでご注意ください。フォーマットする場合は、あらかじめパソコンなどにバックアップしてください。削除してしまった場合は、以下の手順で復元してください。

1 「Utility_HD-PXTU2」( ) 内の「HDDBackup」フォルダーの中にある「MLbackup.exe」を「HD-PXTU2」( ) にコピーします。

2 コピーした「MLbackup.exe」をダブルクリックします。

削除したファイルが復元します。

- Windows 7 をお使いの場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- Windows Vista をお使いの場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

3 コピーした「MLbackup.exe」を削除します。

以上で復元作業は完了です。

● マスターパスワードを設定することをお勧めします。

マスターパスワードを設定すると、Mozilla Firefox で ID やパスワードなどの管理をするときや、Mozilla Thunderbired でメールの送受信するときなどにマスターパスワードが必要となり、セキュリティーを向上できます。マスターパスワードの設定は、以下の画面から行ってください。

Mozilla Firefox ：メニューバーの [ツール]-[オプション] を開く→ [セキュリティ] をクリックした画面から設定できます。

Mozilla Thunderbird ：メニューバーの [ツール]-[オプション] を開く→ ［プライバシー］ をクリック→ [パスワード] タブをクリックした画面で設定できます。

● Mozilla Firefox 終了時に履歴やキャッシュを消去することをお勧めします。

履歴やキャッシュからホームページの閲覧履歴などを知られる恐れがあります。Mozilla Firefox 終了時に履歴やキャッシュを消去するには、メニューバーから [ツール] ー [オプション] を開く→ [プライバシー] 選択→履歴の項のプルダウンから [記憶させる履歴を詳細設定する] を選択し、表示される [Firefox の終了時に履歴を消去する] のチェックボックスにチェックを入れて、OK してください。

● **使いかたや設定方法は、以下のホームページをご覧ください。**

株式会社バッファローでは、Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird に関するお問合せを承っておりません。使いかたや設定方法は、以下のホームページをご覧ください。

http://mozilla.jp/support/

● **起動するときは、必ずマニュアル「はじめにお読みください」に記載の方法で行ってください。**

本製品内の実行ファイルから直接起動すると、設定やメールデータ、ブックマークなどはパソコンに保存されます。

● **他のメールソフトウェア（Outlook Express など）や Web ブラウザー（InternetExplorer など）から設定やデータをインポート（移行）することができます。**

設定やデータのインポート (移行) を行う場合、メニューバーの [ツール（ファイル）]-[設定とデータのインポート] から設定画面を起動し、画面に従ってインポートします。なお、インポートに対応していないメールソフトウェアや Web ブラウザーもありますので、あらかじめご了承ください。

● **ソフトウェアをアップデートするときは、以下の方法で行ってください。**

メニューバーの [ヘルプ]-[ソフトウェアの更新] でバージョンアップの確認を行い、アップデートがある場合、アップデートを実行します。アップデートできない場合は、当社ホームページ（http://buffalo.jp/download/driver/hd/hd-pxtu2.html）に記載の方法でインストールしてください。

※アップデート完了後、再起動を促すメッセージが表示されますが、再起動しないください。再起動すると、メールの設定が反映されない場合があります。アップデート完了後は、一旦画面閉じた後、マニュアル「はじめにお読みください」に記載の方法で起動してください（再起動した場合でも、マニュアル「はじめにお読みください」に記載の方法で起動すればメールの設定が反映されます）。

5 仕様

仕様

最新の製品情報や対応するパソコンについては、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

インターフェース		USB
端子		USB 2.0 Mini-B
転送速度（理論値）		最大 480Mbps（※ 1）
出荷時フォーマット形式		FAT32(1 パーティション) 暗号化機能（暗号化モード）は無効（※ 2）
外形寸法（突起物含まず）		134 × 90 × 20mm
消費電力		2.5W（リード / ライト時）
電源		5V ± 5%
動作環境	温度	5 ～ 35℃
	湿度	20 ～ 80%(結露なきこと)
対応するパソコン		● USB 端子搭載の Windows パソコン ●当社製 USB インターフェースボード搭載の Windows パソコン ● USB 端子搭載の Mac
対応 OS	Windows	Windows 7 (64 ビット , 32 ビット) / Vista (64 ビット , 32 ビット) / XP
	Mac	Mac OS X 10.4 以降（※ 2）

※ 1　本製品を、USB 2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、当社製 USB 2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。

※ 2　暗号化機能（暗号化モード）を有効にした状態では、Mac で本製品は使用できません。